**やすらぎ通信**

退任保護司三十年

平成六年十一月一日に保護司（保護司とは、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランテイア。保護司法に基づき、法務大臣から委嘱された無報酬の非常勤国家公務員）を拝命し、今年の十月三十一日で丸三十年間お手伝いをさせていただきました。静岡で退任式、沼津で最後の挨拶を済ませました。長いようで短いひと時でした。

年末年始号

きっかけは香貫の光明院の頃、地区保護司さんから、「お宅の寺の近くで二人の娘さんがいるけれど、時々面談して面倒みてくれないか」と頼まれたのです。女の子は高校生の姉妹でした。手を付けられないような乱暴な子であったようです。お寺での応対はそんな様子もなく、挨拶もでき、何の問題も無いように感じました。二、三回面談しましたが、一家は引っ越していきました。

一人、月二回の面談を重ねますが、皆、犯罪をするような人にはとても思えません。原因を考えてみると、家庭や生活の環境、友人、個人の意思の弱さだと気が付きます。元々意思もないのに流れの中で罪を犯してしまっていたという事例がほとんどで

した。仏教的に考えても本来皆、人は平等で同じ清浄な身体であると考えれば納得もできます。多くの対象者と面談する中で、皆それぞれ、自分の仕事を見つけ更生していきました。しかし、私の力不足なのか、ただ一人だけ再犯してしまった人がいたことが悔やまれます。

十二月五日、静岡新聞「境界から」のコラムにノルウエーの「堀のない刑務所再犯率低下」記事がありました。ノルウエーはノーベル賞で有名な国ですが、死刑や終身刑はなく、長期で二十一年だそうです。以前は他国と同じように厳しい制度だったそうですが、刑務所内で暴動が起きてから、すべてを見直し、社会復帰と更生に焦点を当て人道的対応を強化しました。今は短期の刑務所ではベッド、本棚、テレビ、冷蔵庫、包丁もそなえられていて、刑務官も皆、私服だそうです。それから、再犯が減り、更生者が増えているそうです。ここ二十年で二十パーセント台に低下しました。重視されているのは「刑罰を与えるのではなく、よき隣人として社会に戻れるよう助けること」を目指すことです。

受刑者は「最初は自分が刑務所にいる事実を受け入れなかったが、今はここでの経験が人生の糧になると思えるようになった」と述懐している。

世界にはいろいろな国があり、問題もありますが、日本での制度も多面にわたり変革の時が来ているのかもしれません。

三明寺住職　大嶽正泰　合掌



更生保護活動は保護司の他、事業主会、更生保護女性会、BBS（少年の立ち直り支援の団体）があります

**更生保護女性会　　普及活動の一環として日赤バザーに参加しました**

【檀信徒行事】

**十二月**

○岩﨑家法事 　　　　　　　　1日

**〇子ども食堂**

○川口家法事 2日

**○道了講 3日**

○水野家・乳井家法事 7日

○後藤家･吉田家法事　　　 15日

**○地蔵講 19日**

**〇ヨガ坐禅の会 17日**

**○餅つき 22日10時**

**○大晦日・除夜の鐘・新春祈祷 31日20時**

**一月**

**○年頭挨拶回り 1～3日**

**〇子ども食堂 5日**

**○道了講・はしごのり 6日11時**

○加藤家・白鳥家法事 12日

〇斉藤家法事 14日

○ペット市村家法事 18日

〇桐沢家・神谷法事 19日

**○地蔵講 21日**

○岡田家法事　　　　　 25日

**○山門大般若祈祷会 26日**

**〇ヨガ坐禅 28日**

**二月**

○太田家・斉藤家法事 2日

**○道了講 4日**

○佐藤家法事 9日

**〇子ども食堂**

○仁科家法事 16日

**○地蔵講 18日**

○小栁出家法事 21日

〇山田家法事 23日

**○じぞう寄席　滝川鯉朝 師匠 23日**

【三明寺やすらぎ大学】

○土曜写経会 6時

○日曜坐禅と法話の会 6時

○月例写経会 第三月曜日 9時30分

○御詠歌(寺族) 第一・三火曜日 10時30分

【お知らせ】

□年末の鎮火祭除夜の鐘･新春祈祷について

　年越しの除夜の鐘は、午後８時から行います

　おそば、お汁粉、甘酒のふるまいがあります

□転居等でご住所の変更される方はご連絡下さい

□住職ラジオ法話

ＳＢＳラジオ 第四土曜日12時22分

コーストＦＭ　76.7 月曜～金曜７時30分

□三島法話カフェ　１月17日18時　住職担当

茶房欅(けやき)にて毎月１回お茶をしながら、東部地区のお坊さんの話を聴く会です

【編集後記】

　能登の災害ボランティアに参加する機会がありました。私はライオンズクラブで土砂の除去とお弁当作り。長男次男は曹洞宗青年会で数珠を作りながらの傾聴です。どちらも總持寺祖院のある門前町での活動でした。体験してわかる自然災害の大きさを目の当たりにし、決して他人事ではない思いです。それと共に、復興を目標とした現地の方々の強さも感じました。

令和六年十二月一日 第九十三号

発行 曹洞宗 大嶽山 三 明 寺

編集 　大嶽正泰

住所 沼津市大岡字三明寺四○五一電話 ０５５・９２９・２３２３

ＦＡＸ ０５５・９２９・２３２４

ＵＲＬ http://www.sanmyouji.com

メール info@sanmyouji.com

　松本城

法人会ブロック研修会　川越

ヨガの後に坐禅　栗名月(十三夜)だったので 欄干で実施

次回　12/17　1/28　2/24　19時～

**能登支援ボランティア**ライオンズクラブで参加　お弁当作りと土木作業を行いました

**愛知尼僧堂月例接心**青山俊董老師と

**沼津市仏教婦人会研修**　静岡市善福寺にて写経と精進料理

**ヨガ坐禅の会10/15**

12月28日には108回太陽礼拝のヨガを行います 10時～

門池福祉まつり　熱気球に乗りました

**第138回じぞう寄席11/10**　**古今亭菊之丞師匠**　落語会が終わって世話人さんと懇親会　次回2/23 17:00 月23日

**特派布教講習会11/11**教区寺院檀信徒の代表の皆さんが参加　坐禅のお話をされました

**高野山の皆様が来山**　**11/11**

伊豆霊場へ研修 住職がお話をしました

**印章供養祭9/29**

西側にある供養塔の前で

**秋彼岸供養　9/23**ご先祖様、ペットの供養